

第1回中野市保育所運営審議会会議録要旨

平成21年5月21日(木)午前11時00分開会
市民会館42号会議室

出席委員

(三井寛、小林良成、永沢みき江、長島克己、中村和代、坂本一寿、
渡辺さつき、黒岩町子)

市

(小田切市長、上野子ども部長、池田保育課長、池野課長補佐、土屋保育係長、
小林主査)

- 1 市長から委員へ委嘱状の交付
- 2 開会(事務局：子ども部長 進行)
- 3 市長あいさつ
- 4 自己紹介 委員 事務局
- 5 正副会長の選出 互選により会長は三井委員、副会長は黒岩委員が選出
- 6 正副会長あいさつ
- 7 諮問(市長が諮問書を会長に提出)
- 8 諮問書朗読(保育係長)

市長退室

- 9 協議事項(会長 進行)
 - (1) 中野市保育料等について
 - ・資料を説明(保育係長)
 - ・質疑応答
保育料の算定について、昨年は所得があったが、失業して所得が下がった場合はどうするのか。(委員)

前年分の所得税等により保育料を決定しているのですが、当年度においてそのような場合でも軽減等していないが、翌年度には保育料が下がることになる。

なお、病気で半分以上休んだ場合は、保育料を減免する制度はある。

また、収入が下がって保育料を支払えない場合は、納入計画書を作成して保育料の一部を計画的に支払い、収入が多くなったところでまとめて支払ってもらうという対応はしているところである。

(保育係長)

(2) その他

インフルエンザの対応について、身近になったときの対応はどうか。

(委員)

大阪、兵庫だけであったものが、昨日首都圏でも発生し、いずれ県内での発生も懸念される場所である。

保育園ではマスク、消毒液の備蓄を行い、保護者へは最悪の場合、休園もあることなどをお知らせしているところである。

子どもの健康を考えれば休園が望ましいが、保護者が就労で家庭で保育できない人もいますので、子どもを病気から守りながら必要な部分は保育園で預かることを考えていきたい。

いずれにしても国・県の対応や、今後の状況を見ながら対応していきたい。

(保育課長)

保護者へ急に知らせるのではなく、事前にお知らせしながら対応していきたい。どうしても保育園に預けなければならない人へは対応していきたいし、子どもの健康を考えれば休園もあり得るが、早めに状況を提供しながら対応していきたい。

(子ども部長)

1.1 その他

次回開催日について説明(保育課長)

・次回の会議は5月28日(木)午前10時から市役所3階第4委員会室で開催したい。改めて通知をお出ししたい。

1.2 閉会(会長) 午前11時49分